

迎春



「安定」

稲美町長

古谷博

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族おそろいで、健やかに平成25年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、町民の皆様をはじめ多くの方々に、町政への深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜りましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、12月に衆議院議員総選挙が行われましたが、国内情勢においては東日本大震災の後、復興に向かつてはいるものの、原発問題をはじめとして経済対策や社会保障問題、消費税の増税など多くの課題が山積しております。一方、国外に目を向けますと、中国・韓国・ロシアといった近隣諸国との領土問題、沖縄の米軍基地問題などさまざまな問題を抱えている中で、国民の心もなかなか安定しない状況が続いています。

我が国は、世界のどの国もこれまで経験したことのないスピードで少子高齢化社会を迎えており、今後より一層、人口の減少傾向が強まると推計されています。人口の減少は、地域活力の衰退等大きな影響を及ぼす可能性があります。こんな時期であるからこそ、しっかりと地に足をつけた町政運営を進めてまいります。

稲美町では、地域特性や資源を活かし、人口3万5千人を目指して活力あるまちづくりを推進するよう様々な施策に総合的に取り組んでおります。特に平成25年度におきましては、自校方式での中学校給食実施に向け鋭意準備を進めてまいります。町政運営につきましては、これまで取り組んできたまちづくりをさらに発展させ、すべての町民の皆様が夢と希望を持ち、「安定」したくらしを送り、「住んでよかった」と思っていただけのような取り組みでいく所存ですので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、平成25年が町民の皆様にとりまして、健康で明るく幸せな一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



「安心して暮らせる」まちづくりをめざして

稲美町議会議長

吉岡敏子

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族おそろいで新しい年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

旧年中は稲美町議会への深いご理解と温かいご支援、ご指導を賜りましたことを、議会を代表いたしまして感謝とお礼を申し上げます。

さて、国政におきましては、29年ぶりといわれる「師走総選挙」が行われました。依然として回復の兆しが見えない経済状況を早く立て直し、発生から2年になる「東日本大震災」の一日も早い復興と、誰もが「安心して暮らせる社会」になるように願いたいものです。

そのような中、地方自治体も適正な判断で行政運営をしなければならぬ、まさにその真価が問われる時代にあると言っても過言ではありません。

議会としても、多様化する政策に、議員一同あらゆる視点での確かな意思表示とチェック機能を果たし、厳しい状況下にあっても多くの方に「稲美町に住んでよかった」と感じていただけるまちづくりをめざして取り組んでまいりたいと考えております。

本年も議会に対し、より深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまにとって健康で幸多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

